

生涯学習だより



「食」を通して

心も体も育てよう

自由で豊かな社会の到来は、私たちの生活にも大きな変化をもたらしました。特に若い世代の「食」への影響は多大なものが見受けられます。子どもたちもお金さえ出せば、「コンビニなど



▶2/23 木 NHK「ひとりでもできるもん」元指導者・坂本廣子さんの食育教室。西大路幼稚園の園児と保護者が参加。

でいつでも食べ物が手に入る時代になりました。

生活の基本である「食」は、栄養を摂るためだけでなく、家族のコミュニケーションの場であり、食事のマナーを知る機会でもあります。

核家族化が進み、豊かに物があふれている現代では、「食文化」が伝承されにくいのが実情です。町では、幼稚園での親子料理教室などで、園児自ら調理をし、五感を通しての食教育に取り組んでいます。顔の見える人が作った野菜などを自分で調理して食べることは、「思いやり」や「もったいない」の気持ちを感ぜられる体験へとつながります。

三度の食事を旬の食材を交えて作り、家族で囲んでいた食生活の繰り返しは、何ものにも代えがたい体験となつて、子どもたちの心と体を育むこととなるでしょう。

「あたりまえ」が変わりつつある昨今、「早寝、早起き、朝ごはん」が見直されています。基本的な生活習慣と「食」への意識を見つめ直し、人の育ちの基礎をしっかり和を整えるため、家庭でもとより、地域社会がひとつになつて、取り組んでいきましょう。



みんなで楽しく スポーツしよう!



このコーナーでは、「総合型地域スポーツクラブ」のことや、平成17年に行いました「スポーツ意識調査」の結果などをシリーズで紹介していきます。



▶3/19(日)字別対抗ビーチボール大会に参加する日野中学生。

わたむきジュニア スポーツクラブ

今 月は、地域の指導者のもとで練習に励む、

わ たむきジュニアスポーツクラブは日野町の中学生を対象に、ビーチボールとレスリングの2種目で

中 学校の外に出て、地域の指導者(日野町ビーチボール協会・日野レスリングクラブ)のもと行っているクラブ活動です。

レ スリングでは、小学生から一般の選手が日野高校の格技場で共に汗を流し、ビーチボールでは、ビーチボール協会の大人に混じって大会の準備や運営を行っています。

こ うした地域の人のつながりや、多くの世代が交流する中で子どもたちが健やかに育って行ける総合型(多種目・多世代)クラブが広がっていく事を期待します。